

平成 29 年 度

事 業 計 画 書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

平成 29 年度事業計画

I. 目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

II. 法人を取り巻く経営環境

当法人は、次のような経営環境にあります。関係機関との連携を図りながら、栽培漁業にかかる円滑な推進に向け、種苗生産等を通じて、県内の水産振興のため各事業に取り組むこととする。

1 外部的な要因として

- ①債券の超低金利状況が継続している
- ②行政機関の財政逼迫により委託費等が削減されている
- ③餌料等の生産資材費の増加により生産コストが増大している

2 内部的な要因として

- ①種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費などの経費が増大している
- ②健全種苗の量産化や新たな種苗生産を開発育成する必要がある

III. 平成 29 年度事業（公益目的事業）

1. 水産種苗生産供給事業

県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産及び中間育成を行い種苗供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業

種苗生産の量産化に技術的課題がある魚種の技術開発試験を行う。

3. 水産振興対策事業

水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流や漁場、漁法の開発事業等に助成する。

4. 啓発普及事業

水産振興に係る協議、調査及び啓発普及などを行う。

5. 資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成及び放流を実施するとともに、市

場での放流魚の混入率を調査し、その効果を明らかにする。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾沿岸地域の漁協等が実施する種苗生産・放流事業に助成する。
また、放流用種苗の中間育成を行い種苗供給する。

7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾沿岸地域の水産資源の維持増大を目的とした放流とその効果調査及び安定的な漁業経営の育成対策並びに海域の水産動植物の生息域の保全、改善に関する事業に助成する。

IV. 事業内容

1. 水産種苗生産供給事業【予算額 255,211 千円】

1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センター（以下「浜島センター」という。）において、県から委託されたヒラメ、トラフグ、クルマエビ、ヨシエビ、ナマコの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給する。

その他にアコヤ貝、ピース貝、ガザミを種苗生産する。

浜島センター【57,776 千円】（県から受託）

浜島センター

（千尾、千個）

種苗名	県 委 託 事 業					アコヤ貝種苗生産・飼育 管理試験事業		伊勢湾栽培 漁業推進事業
	ヒラメ	トラフグ	クルマエビ	ヨシエビ	ナマコ	アコヤ貝	ピース貝	ガザミ
サイズ	30mm	20mm	17mm	17mm	7mm	2mm	2mm	5mm
計 画	200	100	3,100	3,500	40	900	325	2,200

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センター（以下「尾鷲センター」という。）において、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴ、マハタ、ヒロメの種苗生産及びクロダイの中間育成を行う。

マハタ種苗生産については、三重県水産研究所（以下「水研」という。）から基礎技術の移転を受け、東紀州活性化のため、量産化に取り組んでいるが、形態異常魚の発生防止など課題もあるため、引き続き生産の効率化をめざす中間育成試験を実施し、漁業者からの要望尾数が配布できるよう量産化を図る。また、出荷魚の全数に VNN ワクチンの接種を行う。

尾鷲センター 【178,625 千円】

尾鷲センター

(千尾、千個)

種苗名	種 苗 生 産 事 業									
	アワビ				マダイ	トラフグ	カサゴ	マハタ	ヒロメ 種糸	クロダイ 中間育成
サイズ	15mm	20mm	25mm	30mm	30mm	20mm	50mm	140mm	—	80mm
計 画	30	10	618	144	603	230	79	280	5,000m	30

2) 種苗供給事業 【18,810 千円】

両センターで生産した種苗を要望のある市町、漁協等に供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 20,775 千円】

1) マハタ飼育試験事業【2,500 千円】

マハタの形態異常を低下させるためには、仔魚期に鰾（うきぶくろ）に空気が充填されると良いことが明らかになっているので、鰾の開腔率の向上やタウリン等による活力向上に関する試験研究を水研に委託して尾鷲センターで実施し、健全な稚魚の育成を図る。

2) アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業

(1) アコヤ貝種苗生産飼育試験事業 【10,119 千円】

スーパーアコヤ開発事業で開発された新しい選抜手法を用いて、国産貝の中から優秀な親貝を選抜し、アコヤ貝の種苗量産化試験を行う。

また、白色系アコヤピース貝の種苗生産を行い配布する。

(2) アコヤ貝生産技術移転・系統保存管理事業

【1,836 千円】(協議会から受託)

水研で実施している品種改良の交配試験の一環として、「みえの真珠養殖再生支援協議会」から委託を受け、試験貝の飼育管理を行う。

3) 海女漁業資源増大技術開発試験事業

(1) クロアワビ量産化試験事業 【2,120 千円】(県から受託)

海女漁の重要な漁業資源となっているクロアワビの種苗を増大させるため、クロアワビの種苗生産技術の開発試験を行う。

4) 広域種資源造成支援事業 【4,200 千円】(国補助)

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう平成23年度に太平洋南海域栽培漁業推進協議会(千葉県～宮崎県)が設立され、神奈川・静岡・愛知・三重の4県は、トラフグを対象として共同で取り組んでいる。

当法人では、トラフグ種苗を8万尾生産し、6万尾を伊勢湾内に放流する。

3. 水産振興対策事業【予算額 4,800 千円】

1) 外海域水産振興事業 【4,800 千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等や県が整備した浮魚礁の管理に助成する。

また、もうかる漁業対策として真珠養殖業におけるプロジェクト事業の進行管理を担う。

2) 漁協経営再編基盤強化事業

県の専門委員会で承認された三重県漁協系統基盤強化スキームに基づき、資金の後年度負担金を関係各団体から徴求する。

4. 啓発普及事業【予算額 3,000 千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾地域栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果等に関する協議を行う。

また、水産物消費拡大促進協議会等の実施する魚食普及活動に協賛、助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、成果報告会の開催及びみえ栽培漁業ニュースやホームページ等を通じて、県民へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報提供を行う。

5. 資源増大実証事業【予算額 39,390 千円】

1) 地域展開促進事業 【予算額 23,476 千円】

尾鷲センターで生産したマダイ種苗 60 万尾を、同センターで 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、水研の指導のもと、関係者と協力し、主要市場における漁獲や価格及び混入率等の調査を実施する。

2) 特定海域展開事業 【5,360 千円】

浜島センターで生産したヒラメ種苗 20 万尾を、3 ヶ所で 70～80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

3) 資源回復計画促進事業 【10,554 千円】

浜島・尾鷲センターで生産したトラフグ種苗 25 万尾を、3 ヶ所で 50～60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 56,810 千円】

1) 伊勢湾海域生物中間育成事業 【49,700 千円】

伊勢湾北部中間育成場において、クルマエビ種苗 145 万尾、ヨシエビ種苗 245 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

また、伊勢湾南部中間育成場では、ヒラメ種苗 11 万尾、トラフグ種苗 10 万尾、クルマエビ種苗 165 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

なお、一部中間育成場で収容仕切れない 105 万尾のヨシエビについては、浜島センターで中間育成を行う。

2) 伊勢湾海域資源増大事業 【3,210 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等に助成する。

3) 伊勢湾資源調査試験事業 【3,900 千円】

(1) ガザミ種苗を浜島センターで生産、中間育成をして要望のある海域へ放流する。

(2) 伊勢湾のアサリ稚貝を活用し、伊勢湾北部中間育成場において、陸上飼育試験を実施する。この飼育にかかる調査研究を水研へ委託する。

(3) 沿岸漁業の漁獲量が減少傾向にある中、新たな魚種としてマコガレイを伊勢湾に試験的に放流する。

7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 97,693 千円】

1) 海域環境対策事業 【10,000 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るために実施する流木等ゴミ被害対策や底質改善事業、藻場・干潟の再生事業及び環境保全の啓発普及事業等に助成する。

2) 水産資源管理増大事業 【10,000 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流事業、資源管理対策事業及び資源保護に必要な漁場造成事業等に助成する。

3) 漁業経営安定対策事業 【77,693 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設整備事業等に助成する。

平成29年度 収支予算書

(単位：千円)

科 目	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	48,595	50,314	-1,719
基本財産（振興）受取利息	21,996	21,795	201
基本財産（栽培）受取利息	17,806	18,982	-1,176
基本財産（伊勢湾）受取利息	8,793	9,537	-744
特定資産運用益	28,020	28,743	-723
特定資産受取利息	28,020	28,743	-723
事業収益	221,095	204,448	16,647
受託事業収益	62,732	72,046	-9,314
生産物等収益	158,363	132,402	25,961
受取補助金等	3,200	1,800	1,400
受取地方公共団体等補助金	3,200	1,800	1,400
受取負担金	22,014	22,015	-1
受取負担金	22,014	22,015	-1
雑収益	3,661	2,965	696
受取利息	3,661	2,965	696
雑収益	0	0	0
経常収益計	326,585	310,285	16,300
経常費用			
事業費	454,535	458,270	-3,735
役員報酬	3,850	3,850	0
給料手当	100,615	102,608	-1,993
賃金	36,544	32,631	3,913
退職給付費用	8,615	11,240	-2,625
賞与引当金繰入額	6,915	6,236	679
福利厚生費	19,482	19,391	91
会議費	50	55	-5
旅費交通費	3,800	3,309	491
通信運搬費	1,285	1,259	26
減価償却費	7,116	5,877	1,239
消耗品費	30,172	28,464	1,708
修繕費	11,650	7,300	4,350
印刷製本費	360	340	20
燃料費	6,346	6,368	-22
光熱水料費	32,696	34,981	-2,285
借損料	4,939	5,073	-134
原材料費	2,140	2,136	4
餌料費	25,716	23,929	1,787
種苗費	20,713	20,712	1
新聞図書費	316	286	30
租税公課	14,701	12,254	2,447
保険料	1,050	991	59
会費	36	36	0
助成金	103,193	118,677	-15,484

科 目	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	増 減
負担金	2,850	1,450	1,400
委託費	6,510	6,679	-169
研修費	126	100	26
手数料	2,749	1,958	791
雑費	0	80	-80
管理費	4,786	5,500	-714
役員報酬	350	350	0
給料手当	1,900	2,307	-407
賃金	483	483	0
福利厚生費	366	432	-66
会議費	150	150	0
旅費交通費	450	550	-100
通信運搬費	100	130	-30
消耗品費	100	155	-55
印刷製本費	200	210	-10
燃料費	20	20	0
借損料	70	70	0
図書購入費	30	30	0
保険料	115	115	0
会費	157	157	0
負担金	120	120	0
研修費	50	50	0
手数料	20	20	0
雑費	105	151	-46
経常費用計	459,321	463,770	-4,449
評価損益等調整前当期経常増減額	-132,736	-153,485	20,749
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	-132,736	-153,485	20,749
経常外増減の部			
受取負担金	180,000	180,000	0
経常外収益計	180,000	180,000	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	180,000	180,000	0
当期一般正味財産増減額	47,264	26,515	20,749
一般正味財産期首残高	27,051	-180,776	207,827
一般正味財産期末残高	74,315	-154,261	228,576
指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,168,617	5,261,349	-92,732
指定正味財産期末残高	5,168,617	5,261,349	-92,732
正味財産期末残高	5,242,932	5,107,088	135,844

